# 秋田高校同窓会だより

VOL.97

AKITA HIGH SCHOOL alumni association news

●提言 ◎秋元 悠史氏

## 6月21日に総会

●平成27年度進路状況

●天上天下

## 入学おめでとう! 新入生特集

●同窓会入会式

## ズームアップ ◎石川 真紀氏、布谷 和日湖氏

●エッセイ ◎吹浦 忠正氏

## 高校野球100年

●つどい

## 秋高NOW ◎サッカー部、吹奏楽部

秋田県立秋田高等学校　●学校創立　明治6年（1873年）9月1日
●卒業生総数／37,565人（旧制中学7,080人、新制高校30,485人）●在籍生徒数／824人（男子505人、女子319人）
●同窓会員数／38,028人　●物故者／8,716人　●現会員数／29,125人　●住所判明者／21,262人　［平成27年5月1日現在］
●ホームページ　http://akitahs-doso.jp　●E-mail　aki-doso@cna.ne.jp

提言

# 「地方創生」の先進地から 秋田を見つめる

公立塾・隠岐國学習センター　秋元 悠史（平成17卒）

ないものはない、のポスターが島外の人を出迎える（海士町キンニャモニャセンター）

島根県松江市の北60キロに浮かぶ隠岐諸島の一つ海士町。

本土からフェリーで約3時間半かかる人口2400人足らずのこの島には、年間で2千人を超える視察者が訪れる。昨年の安倍首相の所信表明演説により、「地方創生」の先進事例として注目を集めた島の港で来島者を出迎えるのは、「ないものはない」と書かれたポスター。役場の若手職員が考案し、「あきたびじょん」を手がけた梅原真氏がデザインを担当した、海士のキャッチコピーだ。

このコピーには二つの意味が込められている。「なくてもよい」。「大事なものはすべてここにある」。足元の暮らしにこそ向き合おうというわきまえと、清濁みな併せ呑みこの島で生きていこうという覚悟が感じられる、海士らしさを見事に言い表した言葉だと思う。

そのわきまえと覚悟は、海士町が積み重ねてきた「地方創生」の実践にも垣間見える。公共事業の削減により町としての存続が危ぶまれる中、安易な合併ではなく単独町政の道を選び、町長や役場職員は自らの給与カットを断行。「日本一安い給料で日本一働く公務員」たちは「ものづくり」と「ひとづくり」に注力し、「岩がき春香」、「隠岐牛」、「さざえカレー」など独自のブランドを次々と生み出してきた。

島唯一の高校・県立隠岐島前高校は、地域と一体となって「隠岐島前高校魅力化プロジェクト」を立ち上げ、島をフィールドにした教育の場づくりを推進。今や全校生徒の約半数が島を除く全国各地から集まる稀有な学校となった。

多様な背景をもつ移住者をはじめ外部の力も取り入れながら、その取り組みに通底するのは常に「島にあるもの／いる人」だ。

ちょうど10年前に秋田という田舎が嫌になり上京したはずが、気づけば秋田にいつか戻ることが一つの目標となっていた。「海士は修行の地です。将来は秋田に帰ります」。面接という場面でも空気を読まなかった教育業界未経験の若僧は、幸運にも公立の塾のスタッフとして島の高校生たちと日々を過ごすこととなる。

修行先である海士の日常は、しがらみの中でも歩みを止めないプロジェクトのダイナミズムと、高校生たちのエネルギーのおかげで刺激が尽きない。地元住民はもちろん、移住者や島外からの来客など多様な人と交流を重ね、日々成長していく生徒たちと接していると、教える／教えられるという立場を越え、生徒によって自分の思いがけない側面が引き出されることさえある。子ども・大人問わずこうした関係性が築けるのだから、この島は面白い。

海士は本当に小さな島だし、フツーの田舎だ。だが、「ないものはない」の精神で子どもまでもが「島にあるもの／いる人」を最大限楽しもうとしている。千葉出身の生徒は目を輝かせて「将来は隠岐で働きたい」と話し、大学に通う卒業生たちは長期休暇中に約30人の学生を集めて島に戻り、母校の後輩のために出前授業をする。好循環の兆しだ。

翻って秋田を見れば、まだまだ余白がそこら中にある。小さな島にだってできたことは幾らでもあった。この余白を存分に生かさない手はない。

秋田で仲間たちが育んできたものも芽を出しつつある。思えば海士との縁をもたらしたのも秋高の同期だった。この修行を終えた後には、この仲間たちとの縁をしっかりと秋田の未来に繋いでいきたい、そう思っている。

**Profile**

あきもと・ゆうし／1986年、大仙市生まれ。2009年に都内IT企業に新卒で入社後、約1年半で退職し、島根県の離島・海士町へ移住。統廃合の危機に直面していた島の高校を舞台とした「隠岐島前高校魅力化プロジェクト」に隠岐國学習センターのスタッフとして参画。2015年3月には同プロジェクトの軌跡をまとめた書籍『未来を変えた島の学校』（岩波書店）が出版されている。
http://yakimoto.me

## 天上天下 TENJO TENGE

明治時代の校友に、石井祐治（俳号露月）という、当時の俳壇トップの正岡子規と親交を結んでいた俳人がいる。筆者は昨年末、地元雄和出身の露月研究家、伊藤義一氏の力作『俳人露月　天地蒼々』を読み深い感銘を受けた▼露月は秋田中学で学んだが、病気のため3年終了時に中退しているので、同窓会名簿に名前がないのは残念である。旧雄和町女米木の出身で、持病と闘いながらも俳人としての大成を夢見て、上京と帰郷を繰り返した。その間、数多く催された句会の選評を見ると、正岡子規の評価と期待の高さがうかがえる▼だが、彼は持病のため東京で長く生活するのは難しいと判断し、田舎で暮らしていくため医師になることを決意する。西洋医学を習得した医師のいない郷里で、生家で医院を開業した。大変な努力の結果であった▼露月家では長男菊夫氏、次男元次氏ともに秋田中学で学んでいて、母校との因縁の深さを感じる。石井露月顕彰全国俳句大会などが開催されているのは承知しているが、この鬼才が学んだ母校として、何らかの形で顕彰できないものだろうか。

第1回同窓会大会から100年

# 6月21日に総会 記念祝賀会も開催

今年は秋田高校同窓会が設立されてちょうど100年。1915年（大正4年）8月22日に開催された第1回同窓会大会について『秋高百年誌』は次のように記しています。「八月二十二日午後二時三十分より母校において開催、式場にあてられた雨天体操場は万国旗で装飾し、幔幕を四方に繞らして……（中略）……発会の経過が詳細に報告された」。その濫觴から1世紀、会員は3万8千人にのぼります。

世紀をまたぐ節目となる平成27年度通常総会は6月21日（日）、左記要領で開催いたします。また、今回は総会に引き続き記念講演会とささやかな祝賀会を開催することになりました。同窓会員の皆様におかれましては、奮ってご出席賜りますようご案内申し上げます。

## ■ 平成27年度通常総会・同窓会設立100周年記念講演会

と　　き／平成27年6月21日（日）
と こ ろ／秋田ビューホテル4階「飛翔の間」
（☎018-832-1111）
総　　会／午後2時～
講 演 会／午後3時30分～
講師　国立東京博物館館長
錢谷眞美氏（昭和43年卒）

## ■ 同窓会設立100周年記念祝賀会

と こ ろ／秋田ビューホテル4階「飛翔の間」
時　　間／午後4時40分～
祝賀会費／5,000円（当日、会場で承ります）

ご出席の方は、同封のハガキに必要事項をご記入の上52円切手を貼り、6月4日（木）までに同窓会事務局にお送り下さい。FAX、メールでお申し込みいただいても結構です。

《同窓会事務局》
FAX　018（832）9588
Eメール　aki-doso@cna.ne.jp

今春の進路状況

# 東大12人、東北大34人、京大4人 医学部医学科31人、秋田大は18人

この3月の卒業生は、学級減があり1クラス少ない273人でした。このうち、国公立管外大学合格者は昨年度より31人少ない延べ137人でした。

また、私立大学には延べで115人（昨年比－53）が合格し、66人（－44）が進学しました。全体では合格率が69・4％、進学率は66・3％となりました。主な合格先は別表のとおりです。

東京大学は現役で5人、過卒で7人で合計12人（＋4）となり、記録が残る中では過去3番目に多くなりました。高い進路志望を持ち続け努力を重ねた結果だと思います。

他は現役と過卒を合わせて、京都大学4人（＋2）、東京工業大学1人（＋1）、東北大学34人（－14）、秋田大学50人（－15）などでした。医学部医学科には31人が合格、そのうち国立大学は23人（－20）でした。内訳は秋田大学が18人、東北大学3人、金沢大学1人、富山大学1人でした。

私立大学では、最も多かったのが早稲田大学で27人（＋2）、次いで明治大学21人（－9）、東京理科大学20人（－11）、中央大学17人（－10）となりました。

今春の卒業生は新教育課程になって最初の卒業生であり、受験制度も変わりましたが、東京大学をはじめ多くの難関大学に合格し、過卒と合わせた東京大学合格者数は東北地区で2位でした。この後も生徒の第一志望が叶うように支援していきたいと思います。

進路指導主事　佐藤和実

## 大学合格状況一覧

### 国公立管外大

| 大学名 | 現役 | 過卒 | 計 | 大学名 | 現役 | 過卒 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 秋田大 | 32 | 18 | 50 | お茶の水女子大 | 2 | 0 | 2 |
| 東北大 | 24 | 10 | 34 | 信州大 | 2 | 0 | 2 |
| 新潟大 | 12 | 2 | 14 | 岐阜薬大 | 0 | 2 | 2 |
| 東京大 | 7 | 5 | 12 | 山形大 | 1 | 0 | 1 |
| 千葉大 | 9 | 2 | 11 | 宇都宮大 | 1 | 0 | 1 |
| 北海道大 | 5 | 5 | 10 | 埼玉大 | 1 | 0 | 1 |
| 宮城教育大 | 5 | 1 | 6 | 東京医歯大 | 0 | 1 | 1 |
| 岩手大 | 4 | 1 | 5 | 東京外大 | 0 | 1 | 1 |
| 弘前大 | 1 | 3 | 4 | 東京芸大 | 1 | 0 | 1 |
| 東京学芸大 | 4 | 0 | 4 | 東京工業大 | 1 | 0 | 1 |
| 京都大 | 2 | 2 | 4 | 東京農工大 | 1 | 0 | 1 |
| 電気通信大 | 3 | 0 | 3 | 名古屋大 | 1 | 0 | 1 |
| 一橋大 | 2 | 1 | 3 | 大阪教育大 | 0 | 1 | 1 |
| 横浜国立大 | 2 | 1 | 3 | 宮城大 | 1 | 0 | 1 |
| 富山大 | 2 | 1 | 3 | 高崎経大 | 0 | 1 | 1 |
| 金沢大 | 2 | 1 | 3 | 埼玉県立大 | 0 | 1 | 1 |
| 大阪大 | 1 | 2 | 3 | 首都大東京 | 1 | 0 | 1 |
| 国際教養大 | 3 | 0 | 3 | 横浜市立大 | 0 | 1 | 1 |
| 茨城大 | 2 | 0 | 2 | 長岡造形大 | 1 | 0 | 1 |
| 筑波大 | 1 | 1 | 2 | 国公立管外大計 | 137 | 64 | 201 |

### 私立大

| 大学名 | 現役 | 過卒 | 計 | 大学名 | 現役 | 過卒 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 早稲田大 | 13 | 14 | 27 | 東京女子大 | 3 | 1 | 4 |
| 明治大 | 10 | 11 | 21 | 北里大 | 2 | 2 | 4 |
| 東京理科大 | 7 | 13 | 20 | 日本女子大 | 2 | 2 | 4 |
| 中央大 | 7 | 10 | 17 | 同志社大 | 0 | 4 | 4 |
| 法政大 | 8 | 8 | 16 | その他私立大 | 26 | 41 | 67 |
| 日本大 | 4 | 11 | 15 | 私立大計 | 115 | 169 | 284 |
| 芝浦工大 | 0 | 10 | 10 | | | | |
| 東北薬大 | 4 | 5 | 9 | | | | |
| 慶応大 | 3 | 6 | 9 | | | | |
| 立教大 | 5 | 3 | 8 | | | | |
| 立命館大 | 3 | 4 | 7 | | | | |
| 上智大 | 2 | 4 | 6 | | | | |
| 東邦大 | 2 | 3 | 5 | | | | |
| 岩手医大 | 1 | 4 | 5 | | | | |
| 東京薬大 | 1 | 4 | 5 | | | | |
| 学習院大 | 0 | 5 | 5 | | | | |
| 青山学院大 | 3 | 1 | 4 | | | | |
| 成蹊大 | 3 | 1 | 4 | | | | |
| 多摩美大 | 3 | 1 | 4 | | | | |
| 津田塾大 | 3 | 1 | 4 | | | | |

### 医学部医学科

| 大学名 | 現役 | 過卒 | 計 |
|---|---|---|---|
| 秋田大 | 8 | 10 | 18 |
| 東北大 | 2 | 1 | 3 |
| 岩手医大 | 0 | 3 | 3 |
| 富山大 | 0 | 1 | 1 |
| 金沢大 | 0 | 1 | 1 |
| 自治医大 | 0 | 2 | 2 |
| 埼玉医大 | 0 | 1 | 1 |
| 昭和大 | 0 | 1 | 1 |
| 東京女子医大 | 0 | 1 | 1 |
| 医学部医学科計 | 10 | 21 | 31 |

入学おめでとう！
新入生特集

# 晴れ晴れと275人 高校生活へ第一歩

4月7日、母校うぐいす坂は、校門に向かう新入生と保護者の晴れやかな表情と、待ち受ける在校生たちの部活加入を呼びかける明るい笑顔が交錯して華やいだ雰囲気に包まれていた。（表紙写真）

平成27年度の入学式は、教職員をはじめ来賓や多数の保護者が見守る中で行われた。吹奏楽部が演奏するワーグナーの「ニュルンベルクのマイスタージンガー」が重厚な音色を大体育館いっぱいに響かせ、拍手に迎えられた新入生たちがクラスごとに入場した。今年の新入生は男子164人、女子111人。クラス担任から一人ひとり名前が読み上げられ、起立した275人に向かって伊藤成年校長が「本校への入学を許可します」と高らかに宣言した。

式辞の中で伊藤校長は「高い志を持ち、自ら進んで学ぶ高校生活を送ってほしい。そして人間としての強さ、他を思いやる優しさを備えた本物の強さを身に付け、生涯を通じて交わる良き友、良き師を得てほしい」とはなむけの言葉を贈った。

これに対して新入生を代表して竹萬（ちくま）さおりさんが「自分自身の目指す道を見据え、一日一日を大切に仲間とともに過ごすことを誓います」と力強く宣誓、最後に校歌全5番を披露して入学式は終了した。

## 新入生 喜びの声

### 1A 伊藤 大成（本籍 秋田市）

新たな高校生活を秋田高校で送ることができ、喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。その気持ちをもとに、秋高生としての自覚と責任を持ち、「自主自律」や「文武両道」の精神で、一歩ずつ成長していきたいと思います。

【保護者より】
高校生活の3年間でしか得られないものがあります。勉強や部活動を含めて悔いが残らないように努力を惜しまないでください。

### 1A 中川 瑛梨奈（本籍 秋田市）

憧れの秋高生になれたという喜びを感じつつ、秋高生だという自覚を持ち、目標に向かって努力し続けたいと思います。また、自分の持っている力を存分に発揮することができる部活に入部し、頑張りたいです。

【保護者より】
娘には、自分で何事も正しく決断できる大人になれるよう、常に目的を持って努力を惜しまず頑張ってほしいと思います。

### 1B 岡島 一貴（本籍 三重・伊賀市）

自分は将来のことを考えるのが好きだ。大学進学、海外留学。ついつい輝かしい未来を思い浮かべてしまう。だが、それは現実不可能ではない。この秋田高校に入学できた喜びを胸に、誇りを実力に変えていきたい。

【保護者より】
①将来の夢実現に向け高い目標を持つ②目標を必ずやり遂げる強い意志を持つ③一生付き合える仲間を持つ。充実した3年間を!!

### 1B 楢岡 ひより（本籍 秋田市）

私は、この秋田高校で、卒業後の進路についてしっかり考えていきたいと思っています。今は将来の目標が定まっていないので、3年間でいろいろなことに挑戦し、自分の可能性を広げていきたいです。

【保護者より】
入学おめでとう。希望の学校に合格したこと、とてもうれしいですね。これから始まる高校生活がすばらしいものでありますように！

### 1C 松本 元輝（本籍 秋田市）

この春、私は秋田高校に入学しました。授業についていけるのか、文武両道を図れるのか…など不安なことはたくさんありますが、3年間の高校生活を全力で謳歌できるよう頑張りたいです。

【保護者より】
高校の3年間はあっという間です。勉学・部活・友人づくり等、この3年間を有意義なものとしてください。

### 1C 伊藤 彩夏（本籍 由利本荘市）

私はまだ、将来の夢や進路を明確に決めていません。しかし、この秋田高校で素晴らしい仲間たちと過ごす日々の中できっと見つけられると思います。「おのれを修めて世のためつくす」。これを目指し日々邁進したいです。

【保護者より】
たくさんの人と触れ合い、知的好奇心を持ち続け、物事を深く考え、自分の可能性を拡げる3年間であってほしい。

## 1D　櫻田 洸介（本籍　秋田市）

高校という今までとは違う新しい環境での生活には不安もありますが、やはりそれ以上に大きな期待があります。伝統ある秋田高校で過ごすことができる3年間を充実したものにできるよう頑張っていきたいです。

【保護者より】
入学おめでとう。自分の可能性を探すため、また、その基礎を作るため、自由な校風の下で充実した高校生活を送ってください。

## 1D　筒井 菜都美（本籍　秋田市）

幼い頃から憧れていた秋田高校の一員になれたことをとてもうれしいと思います。高校生活にはたくさんの期待と少しの不安があります。それをパワーに変えて、自分の夢に向かって、一生懸命頑張ります。

【保護者より】
これまでの自分を大切に、そして新しい生活の中で仲間とともに新しい自分を発見し、夢へ向かってまっすぐに進んでくださいね。

## 1E　安田 肯平（本籍　秋田市）

僕は秋田高校に入学することができてとてもうれしいです。伝統校の陸上競技部に入部して先輩たちやたくさんの仲間と共に切磋琢磨して、目標であるインターハイ出場を目指すと同時に勉強との両立も図ります。

【保護者より】
高校生活に際して夢を持ち、目標達成に向かって有意義な時間を過ごせるよう、親として応援していきます。

## 1E　尾形 美空（本籍　秋田市）

ずっと憧れていた秋高に入学することができ、本当にうれしいです。秋高は勉強だけでなく、部活動も盛んで、これからの高校生活がとても楽しみです。自主自律の精神のもと、「真の秋高生」となれるよう努力します。

【保護者より】
伝統ある秋高生の一員になれた喜びを胸に、伝統の重みと責任を感じ、夢と目標の実現ができるよう充実した3年間を期待します。

## 1F　野村 優大（本籍　秋田市）

小中学校では野球、ソフトテニスを通し、かけがえのない時を過ごしてきました。これからは秋高の伝統を受け継ぎ、社会を良くするため、自身の目標を確立し、充実した高校生活を精一杯送っていきたいと思います。

【保護者より】
目標の秋高に入学できうれしく思います。人間形成の場で奮闘するわが子を親として遠くから見守り、育んでいきたいと思っています。

## 1F　加藤 綾乃（本籍　東京・板橋区）

わたしは部活と勉強の両立をがんばります。特に部活では、軟式野球部マネージャーとして仕事をしっかりこなし、部員の皆さんが快適に練習できるようお力添えできたらいいです。

【保護者より】
入学おめでとう。一期一会の気持ちを大切にして人として成長し、高校生活が人生の礎となる3年間になることを願っています。

## 1G　今野 蓮（本籍　横手市）

僕は秋田高校に入学することができとてもうれしく思います。高校生活での目標はもちろん文武両道です。部活では「日本一」、学習では成績上位を目指していきたいと思います。3年間、充実した生活を送りたいです。

【保護者より】
入学おめでとう。文武両道、頑張って自分の夢へとすすんでいきましょう。

## 1G　加藤 晟子（本籍　秋田市）

私は高校生活で、先生方のご指導を受けながら、多くの仲間と切磋琢磨し、社会に出るために必要な知識、考え方、人間性を養いたいと思います。そして、将来の目標に向かって、一日一日を大切に過ごしていきたいです。

【保護者より】
伝統のある秋田高校において、これまで受け継がれてきた自主自律の精神をもって、充実した高校生活を過ごしてほしいと思います。


小児科
小山田医院
小山田　雍（昭和39年卒）
大仙市大曲須和町1-4-21
☎0187-63-1133

設計・施工
いとう設備
秋田市指定給水工事店
秋田市指定排水設備工事店
代表 伊藤久男（昭和39年卒）
〒011-0905 秋田市寺内神屋敷16番11号
事務所 TEL・FAX 018-857-1740
自宅 TEL 018-845-5750
携帯 090-7063-1863

コンピュータ、システム構築のことは、ITコンシェルジュがいる弊社にお任せください！
株式会社アキタシステムマネジメント
代表取締役
赤沼　侃（昭和39年卒）
IBM WATSON
〒010-0964　秋田市八橋鯰沼町1-60
☎(018)863-9341 http://asm.co.jp
社長の四季/社員日記　好評掲載中！

処方せん・健康相談の
小町堂薬局
薬剤師
赤川　レン（昭和39年卒）
〒010-1424
秋田市御野場2丁目13-11
TEL 018-839-0795

# 秋田の風土礎に多様な道を模索

文化放送アナウンサー　石川 真紀（平成5卒）

「文化放送のアナウンサーって、ラジオのアナウンサーって、どんな仕事？」と問われる時、私は「自分の可能性を広げられるお仕事」と答えます。臨機応変、あらゆるジャンルの番組・催事に出演しますし、アナウンサーとはこういうもの、という枠もありませんので、以前は想像できなかった新たな自分に出会う日々です。

文化放送のＡＭ波のサービスエリアは関東１都６県が中心ですが、現在はインターネットの同時放送「ｒａｄｉｋｏ．ｊｐプレミアム」を通じて全国でお聞きいただけるようになりましたし、私が担当する番組には「ニュースパレード」のように全国ネットでお届けしているものもあります。秋田のご出身で、現在は関東近郊で暮らす方々から、同郷ということで親近感を抱いたとうれしいお便りを頂戴したり、他方、出張先、旅行先から届くお便りを拝見していますと、移動の機会が増えるのに比例して、今後ますます慣れ親しんでいる物事への愛着を再認識する場面が増える予感がしています。

また、在京秋田県人新春交歓会の司会や、第29回国民文化祭・あきた２０１４の応援大使を務めさせていただく機会に恵まれ、担当番組では随時、各所のご協力のもと、秋田の名産品のリスナープレゼントを展開する中で、この数年の間にブランド化とサービス向上の面で目覚ましい推進力を発揮されている様子を目の当たりにし、秋田の底力をひしひしと感じているところです。

愛する学び舎の後輩の皆さんには、将来どのような進路を選択されるにせよ、できることなら外国へ旅行、あるいは留学の機会を得るべく検討していただきたいと願っており、そして諸先輩方には、後進の皆さんが見聞を広められるよう導いていただきたく存じます。秋田の風土が培ってくれる大らかさを礎に、多様性の中で自らの道を模索する力を、自他共に育んでいきたいと思っています。

いしかわ・まき／1974年秋田市生まれ。早稲田大学政経学部経済学科卒業後、1997年文化放送入社。アナウンサーとして勤務後、2002年から2年間、報道部に記者として配属、警視庁記者クラブ、国会民放クラブ、司法記者クラブなどを担当。2004年よりアナウンサーに復帰。現在、「伊東四朗・吉田照美　親父熱愛」「ニュースパレード」「いとうせいこうGREEN FESTA」「林家正蔵のサンデーユニバーシティ」など、各番組を担当。

ZOOM UP!

# 空を支える航空機タイヤ

ブリヂストンタイヤ実験部
耐久摩耗性能実験ユニット　布谷 和日湖（平成11卒）

ブリヂストンへ入社し、初任配属が航空機タイヤの開発部門でした。航空機部品なので絶対に安全を保障しなければならない、軽い気持ちで仕事はできないと大きな責任とプレッシャーを感じました。しかし、ほどなく官庁や機体メーカー、加えて弊社独自による耐久試験で十分な性能確認を実施していて、安全な製品を自信を持って供給していることを身をもって知ることとなりました。それでも、航空機事故のニュースを見るたびに社会的責任の大きさを再認識し、身を引き締めて仕事に臨んでいるところです。

航空機タイヤは1本で大型トラック1台相当の重量に耐え、Ｆ1並みの速度まで達する極めて過酷な条件で使用されます。設計のちょっとした差で大きな性能差が生じることもあり、高い技術力が要求され、設計者としてとてもやりがいを感じます。

また、新製品の説明のため、米シアトルにあるボーイング社へ度々赴きました。会議前日の資料や説明内容の最終確認では言語の違いもあるため、十分に理解頂けるよう表現の一つ一つにも気を配り、気付くと夜が明けていることもありました。ボーイングの技術者から製品への称賛の言葉を頂いた時は、設計者として認められたようで非常にうれしかったことを覚えています。

主に開発を担当した最新鋭７８７－９型機でテスト機体でのタイヤ性能評価を提案した際、担当の方が熱心に対応してくれたため開発中の機体にもかかわらず、脚回りの調査だけでなく機内やコックピットにも乗せてもらい貴重な体験をさせて頂きました。機体開発のパートナーとしても認められ、よい信頼関係が築けたと実感した場面でした。

ところで先日、東京でラグビー部のＯＢ戦が行われ、久々に懐かしい面々とプレーを楽しみました。苦楽を共にした仲間たち、仕事や人との関わりに対する姿勢はラグビーを通じて得たかけがえのないものです。これらを自分の拠りどころとして、これからも一層仕事に励んでいきたいと思います。

ぬのや・かずひこ／1980年、秋田市生まれ。東北大学大学院航空宇宙工学修了。2006年ブリヂストン入社と同時に航空機タイヤ開発部構造設計ユニット配属。ボーイング787型機など航空機用タイヤの設計・開発に心血を注ぐ。2014年から現職。趣味はランニング。今年の東京国際マラソンに出場、初のフルマラソンで見事サブ4を達成(3時間56分)。写真は秋高ラグビー部同期の仲間と。左端が筆者

同窓会入会式

# 町田会長 〝厳しさ増す国際環境 多様な人生模索が大切〟

同窓会の平成26年度入会式が2月28日、母校大体育館で行われた。入会式には卒業式を翌日に控えた新入会員273人全員が出席した。男子は黒の学生服、女子は紺色の制服に身を包み威儀を正して式典に臨んだ。執行部役員をはじめとする同窓会員と教職員あわせておよそ60人が見守る中、歓迎の挨拶に立った町田睿会長は新入会員たちに次のように語りかけた。

「ご卒業、そして同窓会へのご入会おめでとう。戦後70年、日本は敗戦から立ち直り、世界第2の経済大国に昇りつめたが、1991年、ソ連の崩壊により東西冷戦が終わったのを境に世界情勢はガラリと変わり、アメリカの政治学者サミュエル・ハンティントンが『文明の衝突』の中で予言した民族と宗教の対立の時代、テロルとの戦いの世紀を迎えた。中国やインドなどブリックスの台頭が著しく、日本を取り巻く国際環境も厳しくなって皆さんは今、歴史の大きな変わり目に立っていると言っていい」

町田会長は言葉を継いだ。「経営学者ドラッカーはかつて『これからの企業の平均寿命は大企業も含め30年だ』と言っている。つまり、これからは一つの職場で一生を終えるという生き方は難しくなる。一人ひとりが本人の能力と適性にあった多様な職業選択、多様な人生を模索することが大切だ。皆さんはこれからしばらく自分探しの旅に出ることになると思うが、是非同窓会に関心を寄せていただき、タテの繋がりの強い同窓会の実現にご協力をお願いしたい」。町田会長はこのように述べ、若い会員たちのために同窓会の豊富な人脈を積極的に生かしていく考えを強調した。

続いて若者の積極的な社会参加による楽しい町作りを目指す「若者会議」の中心メンバー中嶋結也氏（平成14卒）が新入会員を激励するメッセージを述べた（発言要旨は下段）。

新入会員への記念品は校歌の一節「おのれを修めて世のためつくす」を印刷したUSBスティック。高島清子副会長から代表の豊島菜々子さん（前生徒会副会長）に手渡された。豊島さんはお礼の挨拶の中で、「各界で活躍する人材を輩出している秋田高校同窓会の一員になれたことを一同、大変うれしく誇りに思います。自主自律の精神の下、3年間学んできたことをこれから様々な状況で生かしていけるよう人生の諸先輩から指導を受けながら頑張ってまいります」と述べ、母校を巣立ち新たな目標に漕ぎ出す喜びと決意をにじませた。

最後に吹奏楽部の演奏に合わせて校友会歌を全員で声高らかに歌い入会式を閉じた。

## 激励の言葉要旨

**中嶋 結也**（平成14卒）

高校時代は柔道部で部活漬けの毎日だった。大学で政治経済の勉強をし、現在は県庁の職員として働いているが、仕事とは別に「若者会議」という活動をしている。

若者会議とは、地域に住む仕事も年代もばらばらの若者が、地元を楽しくするために何が出来るかを話し合い行動する集まりだ。県内には10ちょっとの若者会議があり、例えば横手の若者会議ではつらい雪寄せをスポーツとして楽しんでしまえ！とスポーツ雪寄せ世界大会を行った。この活動を通じて知った地域や自分自身の人生を面白くするコツは三つあると思う。

一つ目は有言不実行のススメ。有言不実行とは約束したことを平気で破るという意味ではなく、出来ないかもしれないけれど、やってみたいことを声に出すということだ。声に出すことで自分一人では出来ないかもしれないが、それを聞いた人ができるかもしれないし、出来る人を紹介してくれるかもしれない。

二つ目はこんなことをしたいと話されたとき相手を「どうせ無理だよ」と否定せずに、「だったらこうしてみれば？」とアドバイスしてあげることだ。植松電機の植松専務によると、「どうせ無理」と言うのは、それをやったことがない人。やったことがない人がやろうとしている人に対して出来ない理由を長々と説明するのだそうだ。

三つ目は行動するなら若いうちに。若いうちだからこそ話を聞いてくれ、地域の人もその活動を応援してくれるし若いうちなら失敗しても致命傷にはならないからだ。みんなが温かく見守ってくれて、失敗も許されるうちにどんどんチャレンジしてほしい。自分の住む地域や自分の人生が変わると思う。

最後に僕が今やってみたいことは、若い人たちが気軽に立ち寄れて夢を語り合うシェアハウスみたいなことをやりたいなと思っている。皆さんの中から「だったらこうしてみれば？」というアドバイスをいただけるとうれしい。

Essay エッセイ

# 世界の国旗と私

国旗・儀典専門家、ユーラシア21研究所理事長
**吹浦 忠正**（昭和35卒）

ふきうら・ただまさ／1941年、秋田市生まれ。早稲田大学政経学部卒、同大学院修了。国際赤十字バングラデシュ、インドシナ各駐在代表、埼玉県立大学教授などを経て、現在、ユーラシア21研究所、社会福祉法人さぽうと21各理事長。法務省入管局参与員、拓殖大学客員教授など。国旗に関する出版物は40点以上、「オリンピックのトリビア」を週刊新潮で長期連載中のほか、メディアでも活躍中。
E-mail:taddy@star.odn.ne.jp

世界の国旗に強い関心を抱いてから、思えば60余年になる。

小学校4年生の時、地図帳を見て気付いたのだが、「北欧の国旗はどうしてみな十字型なのか」と担任の教師に尋ねた。すると、「そんなことより算数、国語、理科、社会などをしっかり勉強しなさい」と言われた。この時の教師の真意は不明だが、今と違って？素直な私はその一言を忠実に守った（はずである）。しかし、結果は、この4教科に限らず、その後のあらゆる教科や学問が国旗の理解に役だった。

幾何学、化学、光学、色彩学、史学、法学、宗教学、民族学、地理学、政治経済学、語学、音楽…どれもこれも国旗研究にとって絶対的に必要だった。恩師に感謝したい。

東・東南アジアの国旗には赤があって緑がない。赤の多くは太陽に由来し、緑は熱帯・亜熱帯雨林気候にあっては特に注目されない色ということか。それがミャンマー、バングラデシュ以西となると、緑が断然幅を利かせる。預言者ムハンマドのターバンが緑だったということから、特にイスラム教徒の多い国の国旗に共通だ。

欧州の国旗には月や星がまずない。長く対立していたトルコの国旗が三日月と星だからか。旧ソ連や7つに分裂した旧ユーゴなどはその中心になったソ連やセルビアの国旗とほとんど似ていないデザインを採択した。

アフリカの国旗では赤、黄、緑がぐっと増える。古来、独立を保ってきたエチオピアの国旗に由来し、いつの日にかの「アフリカの統一」をその三色に託したのだ。

南北アメリカの国旗では青。アメリカン・ブルーとでも覚えたい。そしてオセアニア各国の国旗は南十字星。この十数行だけでも国旗でさまざまな想像力を掻き立てられるかと思う。

さて、1964年の東京五輪組織委で専門職員として国旗を担当し、98年の長野の冬季五輪では顧問として同じような任務に関わった。58年の東京でのアジア大会で中華民国の国旗を逆掲揚した失敗に懲りた諸先輩が、私のような若造の趣味を「お国」と世界のために役立てるようにと誘ってくれたのである。

それが今度は2020年の東京オリンピック。50年前とは国旗についてでも大きく変わった。64年の五輪には94カ国が参加した。それが2008年の北京、12年のロンドンの両五輪では208の国と地域になった。しかも、64年の五輪参加国中、40カ国近くの国旗がその後、変更になったのだ。

加えて、染や縫製のベテランの職人がほとんどいなくなった。幸い、コンピューターでのインクジェット方式が開発されてはいるが、特殊な布地の開発や調達からしなくてはならない。家族からは「健康に気を付けて長生きを」といわれるが、老生は早く次世代が出て来てくれることを期待したい。

前回の東京五輪が決まった時（1959年）、私はまだ秋高生に過ぎなかったのだから。

東京五輪開会式直前の筆者
国立競技場メインスタンド下の
式典本部前で（1964年10月10日）

MASAKI EAR.NOSE & THROAT CLINIC
院長 真崎 雅和（昭和49年卒）
医療法人 真和会
真崎耳鼻咽喉科医院
〒011-0946 秋田市土崎港中央6-8-3
TEL.018-845-0234
FAX.018-847-1321
masaki@medical.email.ne.jp

稲庭うどん・そうめん製造
株式会社 無限堂
代表取締役社長
大島 千明
（昭和49年卒）

公認会計士・税理士
沢田 祐治
（昭和39年卒）
〒010-8506
秋田市東通仲町4−1
秋田拠点センターアルヴェ4F
TEL. 018−832−4137
FAX. 018−833−1027

TOHOKU
秋田東北商事株式会社
Akita Tohoku Syoji. co.,ltd.
取締役社長
近藤 嘉之
（昭和39年卒）
〒010-0061
秋田市卸町4丁目8-9
TEL.018-863-3611㈹ FAX.018-863-3602
URL : http://www.akita-tohoku.co.jp/

## 平成27年度
# 年会費納入のお願い

会員の皆さまには日頃から同窓会活動に深いご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

さて、秋田高校同窓会の運営は、その財政基盤のほとんどを会員の皆さまの年会費に依存しております。円滑な同窓会活動を推進するため、平成27年度の年会費納入がまだお済みでない方には、同封の「払込取扱票」での納入（ゆうちょ銀行・郵便局、コンビニで取り扱い）に、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年会費に関する取り決めは以下のとおりです。

1. 年会費は会員1人当たり2,000円とする。
2. 年会費の請求は単年度のみとし、過年度分は請求しない。
3. 母校卒業後４年間は年会費の納入を免除する。

### 《年会費の口座振替実施へ》

同窓生の皆様にはいつも年会費納入にご協力いただきありがとうございます。

総会等で再三要望がありました年会費の口座振替（銀行口座からの自動引き落とし）を平成28年度から実施することになりました。取扱銀行は秋田銀行、北都銀行、みずほ銀行の３行です。従来の郵便振込やコンビニ振込ではなく、銀行口座からの自動引き落としを希望する方は、今回のだよりに同封している振込用紙の希望する銀行名を○で囲み必ず郵便振込で納入してください。

来年度から実施するのは当面、単年度分の口座振替で、多年度分前納についてはまだ結論が出ていません。

（同窓会財政委員会）

## 投稿・文芸
# 短歌

### 任地追想

千葉県大網白里市
小林 栄一（昭和29卒）

灼熱の高知空港に降り立てば
　たちまち著るき南国の雨

従容と転勤辞令を受けし身は
　今日よりこの地をふるさとと為す

土佐城下棟（おうち）の花の零るころ
　鳴子拍子によさこい踊り

営々と戦後果たせる植林に
　四国山地は美林連なる

四万十の川に佇む沈下橋
　かの風物は詩情なるべし

足摺の椿のトンネル突き行きて
　岬に立てば地響く波涛

白衣着て「同行二人」と笠に書く
　お遍路さんの春野行くなり

結願の大窪寺に詣ずれば
　六根清浄夏鳥の歌

職賭して異を唱うべき覇気なくて
　孤立のなかに口を噤める

世に虚業数多あれども林業は
　実業なりと別れに記す

# 哀悼

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

敬称は省略させていただきました

**平成25年**

8月 伊藤 忠二（昭28）
9月 桝川 芳宏（昭30）
11月 伊藤徳次郎（昭7）
前田 庸（昭26）
12月 田村 優（昭34）
清水 信夫（昭33）

**平成26年**

1月 橋本長四郎（昭27）
八柳 昭三（昭28）
安保 正敏（昭37）
2月 岡野 實（昭20④）
桑原 貞（昭35）
3月 斉藤 葆（昭14）
寺内 知昭（昭19）
若狭 良一（昭24定）
4月 舘岡淳一郎（平8）
工藤 翼（昭37）
門間 昱衛（昭26）
中塚 淳（昭37）
工藤 繁（昭33）
浅野惣市郎（昭18）
5月 伊藤 進（昭43）
鈴木 正（昭10）
6月 下澤 弘雄（昭25）
田中久治郎（昭13）
松田 守雄（昭37）
7月 渡辺 幸雄（昭28）
金矢 隆夫（昭31）
冨田 寛（昭21）
手塚 鉄治（昭20④）
大崎 弘三（昭39）
小室 昭三（昭20④）
8月 冨岡 俊雄（昭36）
9月 手賀 義朗（昭25）
栗原 一郎（昭13）
白崎 善雄（昭43）
10月 渡辺 善欽（昭37）

松渕 隆夫（昭26）
石井 春光（昭31）
佐藤信太郎（昭23）
板倉 昴（昭29）
佐藤 貞三（昭17）
工藤 一夫（昭18）
三浦大四郎（昭40）
平野 庫治（昭13）
工藤 次己（昭39定）
沢木 義春（昭39）
鈴木 哲夫（昭18）
布袋屋伊作（昭20⑤）
佐藤 剛三（昭17）
武田 直彦（昭37）
鎌田 英伸（昭29）
石井 寿樹（昭37）
三浦 忠昭（昭27）
11月 佐藤 忠（昭17）
加藤 敬助（昭23）
斉藤 豊（昭27）
伊藤 雅樹（昭45）
佐藤 昇次（昭16）
木田橋重人（昭17）
坂本 弘二（昭29）
12月 根本 幸蔵（昭20⑤）
岡崎 和市（昭20⑤）
辻 勉（昭25）
藤本 博（昭18）
佐々木幸一（昭25）
村上 修（昭39）
石山 憲一（昭26）
山田金五郎（昭28定）
石川信一郎（昭20⑤）

**平成27年**

1月 小寺 永一（昭28）
茂木 信博（昭41）
斎藤 正寧（昭35）
井川 文雄（昭27）

中川 治（昭50）
安藤 浩（昭28）
池田 昌之（昭39）
淡路 光男（昭18）
井筒 顕（昭22）
西村登美男（昭45）
佐藤 圭次（昭28）
長谷川信夫（昭31定）
三森 美直（昭15）
石黒 秀和（昭20④）
柳谷 直正（昭17）
2月 冨野巳代治（昭7）
小林 征勇（昭39）
小西玄太郎（昭27）
上村 洋子（昭31）
松橋 裕（昭29）
京極 敏（昭33）
佐藤 久晴（昭43）
佐藤 豊吉（昭6）
伊藤 顕（昭16・17）
佐川 圭（昭27）
佐々木 豊（昭35）
岡部 雄幸（昭23）
3月 山本 五郎（昭25定）
高橋 光夫（昭27）
牧野 光雄（昭35）
野上 鯛一（昭19）
川村 信和（昭25）
京野 大三（昭12）
加藤 一久（昭46）
畠山 啓作（昭30）
松橋 利光（昭29）
寺内 良夫（昭43）
田村 康徳（昭31）
寺田 光和（昭7）
北林 祥伍（昭25）
今村 房蔵（昭14）
松田 孝雄（昭45）

注（昭20④）は旧制中学を4年で卒業、（昭20⑤）は5年で卒業したことを表す

高校野球 100th Anniversary 100年

# 第1回大会出場10校 甲子園で〝熱闘〟再現

## 秋田（秋田中）、鳥羽（京都二中）、早実など

高校野球が始まって今年でちょうど100年。1915年（大正4年）8月、大阪・豊中グラウンドで行われた第1回全国中等学校優勝野球大会を嚆矢とする。記念すべき第1回大会に出場できたのは全国の地方大会71校を代表する10校。東北代表として出場したわが秋田中学は前評判の高かった早稲田実業などを撃破、見事決勝に勝ち進み準優勝の金字塔を打ち建てた。

あれから1世紀の時を経て、当時の出場10校が阪神甲子園球場で再び相まみえることになった。当時の初戦と同じカードで戦い熱戦を再現するが、母校野球部OB会矢留倶楽部は今、12月に行われる記念大会に備えて着々と準備を進めている。

### 夢舞台に母校出陣！

損保ジャパン日本興亜秋田支社
信太 誠一（昭和58卒）

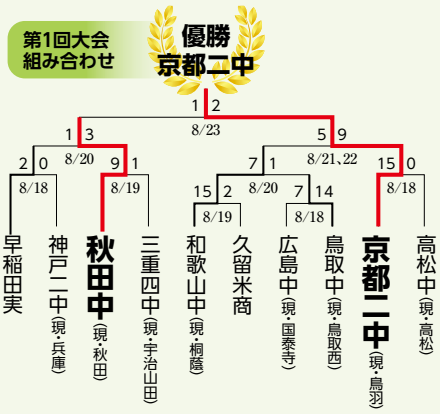
当時は秋田駅から東京経由で35時間かかって大阪駅に到着し、1万人の観衆の前で試合が行われたとされる。1回戦不戦勝、準々決勝は山田中（東海代表）を9―1で破り、準決勝で優勝候補筆頭の早稲田実業（東京代表）の速球投手を攻略し3―1で勝利した。決勝は京都二中（京津代表）と対戦。1―1で延長戦となり、13回裏の京都二中の攻撃で、1死三塁から二塁ゴロで2死としたものの、一塁から本塁への転送が間一髪間に合わず、サヨナラ負けを喫した。あと一歩のところで全国優勝を逃したことになるが、これ以来、春と夏の大会を通じて秋田県のチームが決勝に進んだことはなく、見事な準優勝だった。

この大会には私の祖父の信太貞が出場しており、一塁を守って終始「サアこい！」と元気に活躍し、敢闘賞に選出され辞典をもらったと伝えられる。豊中グラウンドの跡地は高校野球メモリアルパークとして記念公園になっており、当時の門柱や赤レンガ塀が再現され、第1回大会のレリーフが残されている。私は息子と二人で訪れたことがあるが、母校名と共に刻まれた祖父の名前を目にした時は、震えるほど感動した。

私が母校で学んだ文武両道の精神は、息子にも受け継がれて東京の高校ではあるが野球を経験しており、現在私と息子が社会でなんとか過ごせているのは、野球を続けて文武両道を目指してきたからであり、そのきっかけになったのは第1回大会での母校の活躍があったからこそと確信している。また、野球部OBには各方面でご活躍されている方が多くいるが、皆さん文武両道を進んできたものと思うし、野球の指導者となってその道を広めて世の中に貢献している方も多くおられる。その背景には、少なからず100年前の先輩の活躍の影響があるものと推察する。

再現プロジェクトは約8年前から第1回全国大会に出場した学校のOBらと連絡を取り合い、交流を深めて準備を進めてきている。私も微力ではあるが是非成功するよう関わっていきたいと思うし、50人枠のベンチ入りメンバーに選出されることを目指して、コンディションを整えたい。そして、保険の普及を通じて地域に貢献することを仕事としているが、OB野球との両立を実現させて、甲子園の夢舞台を文武両道の精神を確認する場にしたいと意気込んでいる。さらに東北ではまだ成し遂げた学校がないが、後輩には第1回大会の準優勝を超えるよう期待し、母校の応援を続けていく。

第1回大会の信太貞一塁手





Sano PHARMACY 佐野薬局
秋田市保戸野通町3−31
株式会社サノ・ファーマシー
代表取締役 佐野 元彦（昭和49年卒）
取締役副社長 佐野 克彦（昭和59年卒）
取締役 佐野まり子（昭和45年卒）

太平山／ヤマキウ
小玉醸造株式会社
代表取締役社長 小玉 真一郎（昭和49年卒）
取締役営業部長 小玉 康明（平成4年卒）
潟上市飯田川飯塚字飯塚34−1
TEL 018−877−2100
FAX 018−877−2104
www.kodamajozo.co.jp

えのき こどもクリニック
ENOKI KIDS CLINIC 小児科・アレルギー科
榎 正行（昭和49年卒）
榎 真美子（平成3年卒）
〒010-0972
秋田市八橋田五郎2−13−18
TEL：018−866−0505

南浦医院
院長 南浦 光昭（昭和49年卒）
〒010-0023
秋田市楢山本町1−32
TEL 018−834−1097

つどい -TSUDOI-

## 「汝何のために…」一期生

### 39会卒業50周年同期会

昨年10月25日、113人が秋田キャッスルホテルに集う。鎌田修悦会長の挨拶に「汝何のために其処にあり哉」が引用され全員シャキッとする。それもそのはず、昭和38年４月、鈴木健次郎校長が就任挨拶で述べたこの言葉に心打たれた第一期生が我々なのです。目黒初代会長による乾杯が終わると、神妙な顔つきも一瞬で駅前校舎に戻る。心を許せる仲間たちだ。翌日の“ぶらり旅”で同期の平野県立美術館館長から藤田嗣治の解説、濱乃家で舞妓さんと楽しむ等、39会の絆は「秋高39会だよりで一層団結している。13年間で延べ200人近くが寄稿。

今回、校旗の古代紫色で品よく装丁され、卒業50周年記念誌として発行した。また、赤沼幹事長が30分で記念写真に人型の氏名対比表を添付し、各自持ち帰りとなる離れ業も39会の“名物”だ。最後は我々の副歌「高校三年生」で名残りを惜しんだ。口々に「次はいつ開催だ？」の声がひっきりなしであった。（近藤嘉之 記）

## 親子、兄弟会員の姿も

### 五城目支部総会

1月17日、五城目支部総会を開催。会員20人の参加。1月5日に突然逝去された斎藤正寧氏（昭和35卒）ならびに物故会員に黙とうを捧げた。

越後支部長、佐藤副校長と挨拶をいただき、金田勝年氏（昭和43卒）は国政の現状を報告、恒例となった応援団OB小森幸臣氏（昭和42卒）の指揮で校歌を斉唱した。親子会員、兄弟会員もいて五城目支部の層の厚さを感じた。故斎藤正寧氏を偲びつつ懇親を深め、次回の再会を誓い散会した。（菅原孝次郎［昭和44卒］記）

## 卒後20年 語り合う喜び

### 平成7年卒同期会

平成27年1月2日、秋田キャッスルホテルにおいて、恩師を含む100人が参加し、卒業20周年を記念する平成7年卒業生の同期会を開催した。生徒会長石塚智之君の挨拶に始まり、星野滋秋田北高校校長が久々の再会を祝し乾杯。医師として活躍する傍ら、マジシャンとして活動する平野井啓一君による圧巻のマジックショーで大いに盛り上がり、締めは応援団長戸田洸輔君のリードで声高らかに校歌を斉唱し散会した。

様々な立場の垣根を越え、本音で語りあえる仲間との心地よい時間を過ごし、歳をとるのも悪くないとしみじみ感じた同期会であった。（佐藤寛也 記）

## 新支部長に菊地紘氏

### 飯田川支部総会

平成26年度総会を昨年11月22日、11人が出席し、わかさぎ亭で開催した。開会に先立って5月に逝去された鐙美津雄支部長をはじめ歴代会長・会員へ黙とうを捧げた。総会に入り加藤副会長の挨拶、事務局からの経過報告、議事では空席の支部長（会長）を出席者全員で菊地紘氏にお願いした。懇親会では近況報告･高校時代のエピソードなどで話が盛りあがり、締めは伊藤敏和君のイントロで校歌を斉唱し散会した。

次回も今年11月を予定したので今回以上の出席者を期待したい。（三浦浩一郎［昭37卒］記）

# 歌手の歌声が交流に花

## 昭和46年卒同期会

1月3日、アキタパークホテルで恩師斎藤淳先生を来賓に迎え、昭和46年卒の第22回同期会を開催しました。当会は正月と盆の交互に1年半ごとに開催しています。初めての試みで、同期生の娘さんである歌手ジョエルさんのミニコンサートを開会に先立ち行いました。透きとおる声で4曲を歌っていただき、さわやかな気持ちで開宴しました。30人ちょっとの今までで一番少ない参加者でしたが、その分、濃厚な交流ができました。次回は、平成28年8月の開催予定です。　（菊地　隆 記）

# 秋高人脈で就活を後押し

## 東京同窓会

1月31日、賀詞交歓会に先立ち恒例の「大学生と社会人の交流会」が大学生25人と社会人十数人が出席して東京・九段北のアルカディア市ケ谷で開催されました。

今年の交流会は大手生保の人事・採用担当者による“新制度での就活ガイダンス”に始まり、昨年の交流会に参加し内定を勝ち取った大学4年生2人に後輩に向けた就活体験談を話していただきました。さらにこれから就活を行う学生たちが、志望する業種の先輩方から具体的な話を伺う機会を提供し好評でした。

この交流会は、学生たちが各界で活躍する秋高同窓会員の諸先輩方と面識を持つことで親密な人間関係を作り、企業の採用情報に触れたり就職の悩みを相談できる格好の機会であり、大学の同窓会とは一味違った特徴あるイベントです。今後とも秋高東京同窓会は同窓生の絆・縁を大切に、この交流会を毎年継続して開催・運営していきたいと考えています。

東京同窓会幹事・交流会担当
（鈴木　香［昭和51卒］記）

# 岩崎氏に市長から顕彰状

## 仙台支部総会

再スタート7回目の平成26年度仙台支部総会は、昨年10月31日ハーネル仙台で開催した。一昨年は創立140周年祝賀を兼ねて行い100人近い出席者であったが、今回は50人を割ってしまった。

高橋智徳副会長、伊藤成年校長が出席して下さった。伊藤校長は進学、スポーツ活動など現況報告した中で、「生徒数減少など課題はあるが、生徒たちには未来を創り上げるのは諸君らだ。“おのれを修めて世のためつくす”という校訓を胸に秘めてチャレンジしてほしいと呼び掛けている」と話された。

支部顧問の岩崎俊一東北工業大学理事長（昭和19卒）が仙台市制125周年式典で奥山恵美子市長（昭和45年に1学年在学）から22人目の仙台市名誉市民の顕彰状を授与された。同じ高校同窓生の大先輩に後輩の市長が名誉市民称号を渡すのは仙台市では初めてのケース。学都仙台で岩崎先輩は多大な貢献をしてきたが、奥山市長から花束を贈られた岩崎さんに大きな拍手が起こった。

“世のためつくす”の校歌を合唱して閉会したが、仙台圏域には600人の同窓生がいる。支部役員は10人。平成卒の参加も図っていく。　（相澤雄一郎［昭和28卒］記）

# ホームの結束を楽しむ

## 大館支部総会

今年度の大館支部総会は、昨年12月9日に例年どおり市内の北秋くらぶにて開催されました。開催に先立ち、11月に逝去された前支部長で名誉支部長の布袋屋伊作氏の冥福を祈り、一同黙とうを捧げました。

土地柄、秋高出身者はいつもアウェー感が強いのですが、この日ばかりはホームにいるつもりで一同楽しみ、健康に留意してまた来年無事再会できることを約束して散会となりました。　大館支部幹事長
（宮越　順［昭和51卒］記）

❷原稿の最後に執筆者名（支部等にあっては卒業年次も）をお忘れなく。
❸投稿いただいた原稿、写真はお返ししません。どうぞご了承ください。〈広報委員会〉

# 元気と笑顔の卒業15周年

## 平成12年卒同期会

平成27年1月2日、秋田キャッスルホテルにて、平成12年卒業生の卒業15周年同期会を開催しました。

5年ぶりの同期会となった今回は7人の恩師と約60人の参加者でした。前回よりも少なめの参加者でしたが、久しぶりに会う仲間たちは皆変わらない元気と笑顔で盛会となり、有意義な時間を楽しみました。

同期会は今後も20周年、25周年と継続的に開催をしていきたいと思います。今回参加できなかった同期の皆様は是非次回の参加をお待ちしております。また5年後に元気な姿でお会いしましょう！楽しみにしております。

（浅村直人 記）

# はとバス乗り都内名所巡り

## 卒業60周年首都圏30会

30会（昭和30年卒）首都圏の卒後60周年を記念しての会を3月12日開催。早春のお天気に恵まれた青空の下、遠路はるばる北海道、仙台からも参集し、33人が参加した。

昼食は帝国ホテルの豪華なバイキング会食、食後は貸切りのはとバスで評判の東京スカイツリーへ。天望デッキ経由450メートルの最上階、天望回廊へ待つことなく上がり、眼下の景色を心ゆくまで楽しんだ。また、先に天に召された同期の物故者の霊に手を合わせた。

帰りは予定から少し遅れて、改装なった東京駅を見学しながらの解散。参加者皆が、またの再会を約束しつつ、特別に仕入れたおみやげ用写真立てを胸に家路についた。

（堀　義顕 記）

# 菅江真澄の足跡に感銘

## 追分三叉路会

昨年10月18日、県立博物館学習室で平成26年度追分三叉路会総会を開催した。決算、次年度予算案などが原案どおり承認され、近藤隆氏（昭和33卒）を会長に選ぶなど新役員を選出した。

総会終了後、県立博物館特別展「菅江真澄、旅のまなざし」を見学、真澄の膨大な著作・絵図に圧倒された。

この後、講堂で読売新聞特別編集委員橋本五郎さん(昭和40卒）の特別講演会「五郎が語る真澄!」に耳を傾けた。話が真澄の文体に及び、司会者が五郎さんの文体について尋ねると、「簡潔にして心の温もりがこもった文体で書くことが永遠のテーマです」という答えが返ってきた。

旭町会館に移して行われた懇親会では、五郎さんを囲んで大いに酒を酌み交わし、「天上はるかに」を高らかに歌って東京に帰る五郎さんを空港へ送り出した。

（藤原正三［昭和46卒］記）

# 現役応援へ熱き思い

## 応援団OB紫紺の会

平成26年11月22日、協働大町ビルを会場に、忘年会と呼ぶには少々早い懇親会を開催しました。日中は椿台CCでゴルフコンペも開催。奇跡的な好天の下でプレーを楽しんだ8人を含む11人が出席しました。

川合厚彦会長（昭和41卒）の開会挨拶に続き、最年少の小澤浩之氏（昭和60卒）の乾杯で開宴。夏の甲子園予選で有志がスタンドに集結した際の感想から、現役応援団の力になりたいとの熱い思いを語り合い、和気あいあいの近況報告と記念撮影でお開きとなりました。

（保坂尚吾［昭和55卒］記 ）

「つどい」投稿について

❶「つどい」欄への投稿は毎回多数にのぼるため、スペースの制約からやむを得ず原稿を短縮したり、次号に回すことがあります。ご容赦ください。

# 北雄合宿感想文から

1A　杉山 穂乃佳

「私たちは一人で生まれてきたのではない」安田純氏（昭和58卒・東北大学メディカルバンク機構）講演を聴いて

「科学者」という立場の方のお話を聞くのは初めてで、「ゲノム」などといった専門的なものも多く、これからの科学への見通しや期待が高まりました。また、独創性というのは研究者という職において非常に大きいのだと思いました。人が当たり前のように感じることや、見逃していることを見つけ、テーマにするのはすごく大変だと思うし、もちろん力や技量も必要だと思いました。だから「個性」があるたくさんの人々と共に多様な視点で見ることが大切なのだと思います。

安田先生は、若いうちに潜在能力の99％を少しでも開花することが重要だと語っておられたし、さらに高いレベルの大学へ進学することが、最先端に触れるということにおいて大切だともおっしゃっていました。

同じ学科、同じ内容でも、周囲の環境というのは重要視されるべきです。「秋田高校に入学した意味とは何か」、「高いレベルの大学を目指す理由は何か」ということを念頭に勉強していきたいです。また、「科学」を通じて人は協力するのが自然だとわかったので、周囲との関わりを大切にしたいと思います。

仙北市田沢湖町で行われた北雄合宿

# 目標は全県総体優勝

バドミントン部　3F　藤原 穫

私たち秋田高校バドミントン部は今、全県総体で団体優勝しインターハイに出場することを目標に日々の練習を頑張っています。一つ上の先輩方が引退した後にこの目標を立てました。昨年度は夏の暑い日の練習を頑張り抜いた結果、全県新人大会で強豪校である大曲工業高校を破り、ベスト4に入ることができました。この大会での目標は優勝だったので、準決勝での敗退はとても悔しいものでしたが、東北大会への出場権を得ることができました。

東北新人大会は今年の1月に山形県鶴岡市で行われました。初戦の相手はそれまで何度か練習試合をしてきた盛岡市立高校でした。健闘及ばず敗れてしまいましたが、その後に行われた交流戦からも、まだまだ実力が足りないことを痛感しました。

この経験を糧にして、冬は基礎体力の向上に努めました。ダッシュやフットワーク、筋肉トレーニングなどを疎かにせず、全力のレベルを上げていくことを意識しました。手がかじかむ寒さの中、励まし合って練習を頑張ってきました。

4月18日、19日に行われた春季選手権では、部員それぞれの課題が明確になりました。現在、その課題を克服すべく、まずは中央支部総体での優勝を目標に練習に励んでいます。ここで結果を残して自信をつけ、最終的には6月の全県総体での優勝を達成したいと思います。残されたわずかな日数を大切にし、努力していきたいと思います。

東北新人大会（1月・山形県鶴岡市）


歯科・小児歯科
清水歯科クリニック
院長
清水 真木雄
（昭和59年卒）
〒010-0914
秋田市保戸野千代田町2－41
電話　018－863－3443

山王けやき薬品
KEYAKI
HEALTHY & BEAUTY
飯田 誠（昭和59年卒）
☎018－866－0770
〒010－0951 秋田市山王５丁目14－1
FAX.018－867－0071
E-mail info@sanno-keyaki.com
URL www.sanno-keyaki.com

株式会社 ヤマキチ商店
代表取締役
茜谷 浩二
（昭和49年卒）
秋田市卸町四丁目８番14号
TEL. 018－862－6171
FAX. 018－862－0971

税理士法人
RINGS
代表社員 税理士 武田 亨
（昭和49年卒）
〒010-0041 秋田市広面字碇1番地7
TEL.018-838-7107 FAX.018-838-7106
http://rings-accounting.jp/

# 常に挑戦を

放送委員会　3A　西田　亘

放送委員会では、日々の放送や行事運営協力のほかに、放送技術の向上を目的とし、各種大会への出場も行っています。ここではこの活動についてご紹介したいと思います。

高校放送の大会にはアナウンス・朗読など読みの部門とテレビ・ラジオ番組制作の各部門があります。このなかでも創作テレビドラマ部門は、8分間のドラマ作品で競い合うもので各校が趣向を凝らした制作を行います。

昨年度、NHK杯に本校が出品したテレビドラマ「空の内側」（からのうちがわ）。17歳の高校2年生・駿一が直面したのは、唐突すぎる親友・佑平の死。受け入れ難い現実を否定し続ける彼の前に現れたのは「もう一つの彼の人格」。弱い自分自身と自分を罵る「自分」。逃げ道を失った彼を最後に救ったのは祐平だった――。

テレビドラマ「空の内側」のワンシーン

制作にあたっては独創性・独自性を最重要コンセプトとしました。いわゆる学園もののような番組がこれまで多かった中、今作では「ひとりの人間」としての高校生を見つめるストーリー構成とし、その心の動きをより少ないセリフで伝えることを目指しました。制作技術の面ではこれまでのビデオカメラではなく、デジタル一眼カメラによる撮影を行いました。これにより被写界深度の浅さを生かし、奥行きのあるダイナミックな映像を実現しました。

結果としては県大会では部門最優秀賞、全国大会でも準決勝進出を決めるなど、一定の評価を頂くことが出来ました。講評では独自の世界観や暗所撮影の技術が評価された一方、ストーリー進行などに課題も残りました。今年度の大会もまた一歩、新しい挑戦を続けてゆく所存です。

# 敗北から学ぶ

柔道部　2B　丹　智広

3月20日と21日に日本武道館で行われた全国高校柔道選手権大会。男子個人戦55キロ級に秋田県代表として出場した私は、いつもとは違う雰囲気の中で試合をすることができた。

初戦は宮崎県の代表選手との試合だったが、序盤から相手のペースになってしまい、そのまま試合終了で初戦敗退。相手のパワーとスピードの前に自分の良さを出せずに負けてしまい、悔しい敗戦となった。日頃から全国大会の上位入賞を目指して頑張ってきたが、試合を通じて自分の甘さを実感した。

しかし、上位に行く選手たちの試合を見ても、圧倒的に勝っているわけではなく、ほとんどが僅差でありほんの少しの差で勝ち上がっていることに気づいた。また、優勝候補と言われる選手が途中で敗退することもある。これは、自分たちも上位へ行く選手たちとの差がわずかだということを意味すると同時に、自分たちにも勝つチャンスがいくらでもあるということだと思う。この少しの差を縮めるためには人の何倍もの努力をしないといけないし、苦しい場面も多いと思うが、これを乗り越えなければこの先上位には行けない。

毎回試合で負けるのと同時に、自分はまだやれると感じる時がある。これは日々の苦しさよりも試合で負けた悔しさのほうが自分の中で大きいからである。今大会での悔しさは絶対に忘れられない。

自分はまた来年も挑戦することができるので、まずは予選を突破し、日本武道館の畳の上でよりレベルアップした姿を見てもらえるように頑張っていきたい。

全国高校柔道選手権に出場した丹智広選手


あいおいニッセイ同和損保・
三井住友海上あいおい生命・日本生命 代理店
有限会社セーフティ保険コンサルティング
（社）日本損害保険代理業協会正会員
SAFETY Insurance Consulting
金澤　武
代表取締役
TAKESHI KANEZAWA
（昭和59年卒）
秋田市土崎港中央5丁目6番22号 〒011-0946
TEL/018-845-6310 FAX/018-845-6326
E-mail:t-kanezawa@safetyic.com
HP-address:www.sonpo.ne.jp/agent/safety/

院長 山本高敬（昭和59年卒）
ひがしとおり歯科医院
〒010-0003 秋田市東通3-10-15
0120-76-8867
FAX 018-831-8867
診療時間
月～金 午前9:00～午後1:00
午後2:30～午後6:00
土　曜 午前9:00～午後1:00
休　診 日曜・祝日
http://www.hahappy.com
山本歯科医院
〒014-0311 仙北市角館町田町上丁50-2
0120-51-2058
FAX 0187-53-2058
診療日は月・火・木のみ
診療時間
午前8:30～午後12:30
午後2:00～午後 5:30
http://www.yama-dent.jp

太平山頂上鎮座
太平山三吉神社
宮司 田村 泰教（昭和59年卒）
秋田市広面字赤沼3－2
☎018－834－3443

秋田高校同窓会だより vol.97
AKITA HIGH SCHOOL alumni association news
2015年5月20日

# 秋高NOW（ナウ）

## 4強の壁を越えるために

### サッカー部

私たち秋田高校サッカー部は、4月に新入部員9人を迎え、3年生9人、2年生8人の合計26人と決して多くはない人数で活動しています。それでも1年生9人の加入は私たちの大きな喜びであり、これまで練習や遠征の時などに感じていた不自由さを解消できる力になると期待しています。

秋高サッカー部の現在の目標は、全県大会で4強に入ることです。過去にインターハイに出場経験のあるチームですが、まずは一歩ずつ目標を上げようということで、この目標を設定しています。

近年秋田県では4強がほぼ固定されています。私たちは一昨年の高校選手権・全県新人、昨年の全県総体・高校選手権と続けて8強に入ってきましたが、ことごとく4強の壁に阻まれてきました。昨年の高校選手権では、相手チームが3年生主体のチームだったのに対し、私たちは1・2年生のみという状況で、健闘したものの体力面や技術面で4強との差を強く感じる結果となってしまいました。

そこで私たちは、より高いレベルのサッカーを体感するために、学校や保護者、OB会など多くの方々に協力してもらい、オフシーズン中に広島遠征と神奈川遠征に挑んできました。広島遠征では、自分たちのサッカーがある程度通用するという自信と手応えを獲得しました。神奈川遠征では、全国大会で優勝経験のある強豪校などとの対戦を経て、秋田とのプレースピードの違いなどを肌で感じてきました。

対由利工業戦（昨年5月）で相手陣営に攻め込む秋高（白）

遠征で経験したことも交え私たちは現在、相手へのアプローチを早くしてプレッシャーを与えること、そういった早いアプローチの中で如何に精度の高いプレーが出来るかということに重点を置いて練習しています。

秋高サッカー部が4強に入った、もしくはそれ以上の成績を残したという知らせが、卒業した先輩方に届くようにチーム一丸となって頑張りますので応援よろしくお願いします

〔平成27年度サッカー部主将　3C　佐藤　大将〕

## 自由な雰囲気で自主運営

### 吹奏楽部

秋田高校吹奏楽部は「生徒主体」をモットーに日々活動に取り組んでいます。部活の運営や練習計画を部員自ら立て、練習を行っています。秋田高校の自主自律の精神の下、生徒一人ひとりが責任と自覚を持ち、それぞれの役割を果たせるよう努めています。これは他の部活動などにはないこの部活独特の体制だと思います。

そんな私たちの目標の一つが、「ヴィルトゥオーゾ」というものです。これは技術が一流である達人を意味します。部員がそれぞれの楽器を達人のようにうまくなることで、よりレベルの高い演奏ができるよう心がけています。

また、私たちの部活練習後の時間の使い方は様々です。勉強との兼ね合いをみる人もいれば、自分の好きなだけ楽器の練習を続ける人もいれば、友達と談笑している人もいます。このような自由な雰囲気もこの部活のいいところだと思います。

会心の演奏!、満面の笑顔(^o^)（昨年7月、全日本吹コン県中央地区大会・秋田県民会館）

そして、私たちは現在、5月30日に秋田県民会館で行う第61回定期演奏会に向けて練習に励んでいます。この演奏会では、多くの方にお楽しみいただけるようクラシック、ジャズ、ポップスなど幅広いジャンルの音楽をお届けします。もちろん、ここでも部員が率先して構成や演出を考えています。ぜひ会場に足をお運びください。

これから吹奏楽部は、勝負の夏へと突入します。新入生を迎え新たな体制となりました。来る全日本吹奏楽コンクールでいい結果が残せるよう、部員一丸となって常に進化し続けていきたいと思います。

〔3D　高橋　奏季〕

## 事務局通信

120周年の記念事業として刊行した「先蹤録」が、同窓会ホームページの「同窓生の今」から見ることができるようになりました。これを見ての問い合わせが県内外からあります。

ホームページのすごさを感じます。偉大なる人物を輩出したわが母校。その一端を先蹤録から読み取れます。機会を見て是非ご覧ください。150周年を見据えての周年誌および続先蹤録の特別委員会もスタートしました。

## 編集後記

春は出会いと別れの季節。卒業生には母校で培った品性の陶冶に磨きをかけ、新入生には入学式の感激を忘れずに悔いのない3年間を送ってほしい▼往年の高校球児たちが甲子園に集合、100年前の試合を再現する。わが矢留倶楽部にはけがに気をつけて存分の活躍を期待したい。

（半可通）

発行者／秋田県立秋田高等学校同窓会　秋田市手形字中台1番地
電話 018－832－9553　FAX 018－832－9588
印　刷／秋田協同印刷株式会社